

新風

2022
特別号

Organization Magazine for Sugamo Jr.Club



- 01 新風特別号に寄せて(会長・広報委員長)
- 02 理事長よりあいさつ(巣鴨信用金庫 田村理事長)
- 03 特別号への思いとリーフレットへ込めた願い
- 05 スガモクラブ紹介
- 07 お知らせ
- 09 卒業生紹介
- 10 委員会報告

裏表紙 編集後記・事務局便り

ブロック編成表(2021年度)

A	本店／大塚／東池袋	E	常盤台／東武練馬／幸町／東新町
B	駒込／西日暮里／鹿浜／王子／南平	F	志村／成増／朝霞台／高島平／新高島平／新座
C	早稲田／水道／春日町／中野	G	江古田／練馬／田柄光が丘／土支田／平和台早宮
D	板橋／池袋／板橋栄町／椎名町	H	戸田／西川口／西戸田／中青木／西浦和

事務局便り

広報委員会の皆様のお力により特別号の「新風」が出来上がりましたこと、本部事務局として心より御礼申し上げます。

岡本委員長を筆頭に委員会の委員の皆様におかれましては打ち合わせ取材等にご尽力いただきましてありがとうございます。

2021年度は、昨年より続く新型コロナウイルスが収束をみるどころか、東京においては、1年の大半が緊急事態宣言下という異常な状況になり、巣鴨ジュニアクラブ行事も、すべて中止となり、私達の生活に暗い影を落とした年となりました。

今後も、コロナ禍での新たな生活様式に適応しながらクラブ運営を進めざるを得ず、なかなか先が見通せない状況ではありますが、来年度はコロナウイルス感染拡大が終焉し、ぜひ皆様とともに、活発なクラブ活動をしていけたらと思います。

末筆になりますが、会員の皆様並びにご家族の皆様が健康で益々ご活躍されることをお祈り申し上げますとともに今まで巣鴨ジュニアクラブの為に一生懸命ご尽力いただいた皆様に感謝し、事務局便りとさせていただきます。

(本部事務局 並木)

編集後記

今年度も、昨年度に引き続きコロナ二色の一年でした。皆様におかれましては、本業も私生活もご苦労の多い年になられたことと存じます。ジュニアの活動も昨年度に引き続きほとんど全ての活動がストップしてしまっております。

そんな中で、当広報委員会として昨年度に引き続き皆様のために何のお役に立てるかを考えに考えていきました。ちなみに、広報委員会の活動はコロナがひどいときはZoomで、落ち着いているときは集まってやりました。当初は、ジュニアの活動自体何もないのだから、新風も書くことがないので、いつもの簡単な挨拶程度の薄いもので終わらせようかなとも考えました。しかしこんな稀有なときだからこそ、いつかどうにかできるのでは、ないかと、委員のみならず、会員のみなさまにアンケートを取り、意見を集約しました。これを集めていく中で、ジュニアの魅力を改めて再認識することができたことは大変有意義だったと思います。そして、全会員のみなさまの意見を集約したという意味で、このリーフレットは、広報委員会だけでなく、現会員のみなさまみんなで作りましたと云えるのです。このように、リーフレット作成という広報委員会では初めての企画をすることができ、コロナ禍であったからこそ取り組めたということ、大変感



概深いものでもありません。また、広報委員会年目くらの若い人たちの発想が素晴らしい、今回のリーフレット作成では大いに活躍していただいたことにも意義深いことと感じました。

私ことではございますが、私は今年がジュニア最後の年として、何とか最後にお役に立ちたいと、今年度の広報委員会は全回出席させていただきます。一生懸命やらせていただいたつもりです。

最後になりますが、リーフレットや記事の作成に協力していただいた皆様、巣鴨信用金庫様、ありがとうございます。実際に作成した広報委員会の皆様、本当にお疲れ様でした。夜明け前が、一番暗いといいますが、もしばらく負い過ぎないペースで、またみんなでいきたいと思います。そしてまたみんなでいきたいと思います。常盤台支部 奥野大作



新風特別号に寄せて

巢鴨ジュニアクラブ 会長 本橋 一真 〔新高島平支部〕



令和3年度巢鴨ジュニアクラブ会長を務めさせていただきました、新高島平支部の本橋一真と申します。

平素より会員様ならびにスガモククラブ様、またそのご家族の方にはご理解ご協力を頂き誠にありがとうございます。

今期も前期同様、新型コロナウイルスの動向を確認しながら活動してきましたが、残念ながら事業委員会のチャリティボウリング大会とソフトボール大会は中止となり、企画委員会も委員会活動が思うようにならず、イベントはできませんでした。緊急事態宣言が明けた10月から本役員会も再開し、議論を重ねる中で現在は来期に向けて出来ることを模索しているところです。

その中でも広報委員会はオンラインを上手に活用して活動をし、機関誌『新風』特別号を発行することが出来、さらに会員増強に向けたリーフレットも作成し、令和4年度に向けて少しずつですが進んでいます。

巢鴨ジュニアクラブ会長として、会員の皆様から、コロナで会社を辞めるようなことが無いように巢鴨ジュニアクラブで微力ながらも、できることは無いかを考えてきました。

巢鴨信用金庫様が『縁の市』を使った飲食業界の支援をして下さっているように、ジュニアクラブでもSNSで、飲食業界の皆様を紹介しています。これはこれからも継続していきまますし、飲食業以外の方の紹介も行っておりますのでぜひともご参加をしていただき、宣伝をしていただければ幸いです。

また、東京都感染拡大防止ガイドラインの元、マスクの着用や検温や会議室の換気などをしっかりと徹底したうえで、少しずつですが事業委員会も企画委員会も活動をできています。今はまだ対面の会議が自由にできなかったりしていますが、巢鴨信用金庫様の会議室が借りられるようになり、会議室での委員会も再開できています。

皆様も是非委員会に出席していただき、コロナ禍だからこそ新しい仲間づくりや、仕事の相談などができる関係を巣鴨ジュニアクラブで築いていっていただければと思います。

私は卒業になりますが、コロナが収束した時、会員の皆様がご自身の事業を無事に継続し、巣鴨ジュニアクラブのイベントでお会いし、共に酒を酌み交わす日が来ると信じ、二日二日を過ごしていきたいと思えます。これからも巣鴨ジュニアクラブをどうぞよろしくお願ひ致します。

末筆ながら、このような状況の中ではありますが、皆さまのご健康と、益々のご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

お陰様で100周年、そして次の新しい100年に向かって

巣鴨ジュニアクラブの皆様方には、日頃より格別のお引き立てを賜り誠にありがとうございます。

昨年一昨年に続き、新型コロナウイルスが蔓延し閉塞感が漂う状況でしたが、今まで当たり前のことが実は有難いことであったと、改めてたくさんの感謝に気付いた一年でもありました。

さて、本年4月4日に当金庫はいよいよ100周年を迎えます。

創業した1922年は大正の大不況で、地域の多くの方がお困りになっていました。そこで「困っている時はお互いに助け合おう」という相互扶助、「心を合わせ、力を合わせ、ともに助け合う」協同の精神、そして非営利の崇高な経営理念を中心に据えて、有限責任信用組合 巣鴨町金庫は誕生しました。

それから、大正、昭和、平成、令和と厳しさを乗り越え今があります。信用金庫の歴史は合併の歴史と言われていますが、当金庫は合併することなく100周年を迎えることができます。これも偏に、数ある金融機関の中から当金庫を選んでくださり、長年にわたりご愛顧いただいているお客様のお陰であると深く感謝を致しております。

私たちは100年の歴史のなか、職員みんなで弛まず企業文化を磨き続けてまいりました。その文化に共感共鳴して下さっている大勢の巣鴨ファンの方々と強い絆が、当金庫の最大の財産「信頼残高」となり、今日に至っているのだと心に刻んでおります。

創業時は大恐慌、そして現在は戦後最大の不況と叫ばれる中、大変多くの方がご苦労されています。歴史は繰り返すと言われますが、このコロナ禍は「次の新しい100年に向って」新たに歩み出して行く私たちに、当金庫の原点の「困っている時はお互いに助け合う」という創業の精神で、「困っているお客様と共に歩む志を忘れるな、本物の信用金庫としての使命を果たせ」と厳しく教えられているような気がしてなりません。

これからも当金庫は感謝の気持ちを忘れず、しっかり使命を果たしていく所存ですので、変わらぬご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束と、巣鴨ジュニアクラブの今後益々のご発展と会員の皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。



巢鴨信用金庫 理事長
田村 和久

巢鴨ジュニアクラブ 広報委員長 岡本 麗 〔椎名町支部〕



平素より会員の皆様には、巣鴨ジュニアクラブの活動にご理解ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

令和3年度の広報委員長を務めていただきました、椎名町支部の岡本と申します。

本年度も、新型コロナウイルスの影響で、巣鴨ジュニアクラブは全体としての活動をすることができませんでしたが、各支部においては、社会情勢などを考慮しながら少しずつ活動を再開した支部もあるようですが、活動再開の目的が立たなかった支部もあるようです。

今年度の広報委員会は、昨年度の経験を活かし、オンラインで会議を開催したり、状況を見て対面で会議を開催したりと、状況に応じて柔軟な活動をしてきました。

本来であればこの『新風』は、50号となる予定でした。しかし、全体としての行事がないため載せる記事がなく、また、どこかへ取材に行くのも憚られる状況でした。かといって、前号に引き続きコロナ禍を軸に特集を組むのでは、節目の50号としてはあまりに忍びない。

今年度は発行しないという選択肢もありましたが、長年続けてきた新風の発行を途絶えさせてしまうのは、広報委員会の本意ではありませんでした。新風は内容を絞ってでも発行する。その他にアフターコロナを見据えていまできることはなにか、それを広報委員会でも考えました。

その結果、新入会員勧誘用リーフレットを作成することになりました。いまはコロナ禍の影響で、会員候補の仲間を誘う場がなかつたり、全体での活動がないので、巣鴨ジュニアクラブ全体行事のイメージが伝えられなかったりと、勧誘するには厳しい状況です。しかし、思いや立場、境遇を共にする仲間と集うことの素晴らしさが再認識されるであろうアフターコロナの世界を見据えて、ジュニアクラブで一緒に活動する仲間を増やしたい、そんな思いを込めたいリーフレットです。

長いコロナ禍で、色々な形で『分断』が目立つてくるようになりました。もしかすると、その分断したものを元どおりに戻すことはできないかもしれませぬ。しかし、色々な立場や視点から見ると、そこが『多様性』として受け入れることはできないか。分断の行く末が孤立なのか、それとも多様なものか。

様々な立場の仲間が、様々な考え方を発信し、受信する。広報委員会は、そのつなぎ役でありたい。意見の集約者や発信者でありたい。

コロナ禍以前の巣鴨ジュニアクラブの素晴らしいところは残しながら、全てを元どおりにしようとするのではなく、新たな視点や価値観を持ったアフターコロナの新しい巣鴨ジュニアクラブの形をみんなで作っていく。

広報委員会が、新風が、リーフレットが、その一助になれるのであれば、広報委員会としてこんなに嬉しいことはありません。

最後になりますが、ご協力いただきました巣鴨信用金庫の皆様、スガモククラブの皆様、巣鴨ジュニアクラブの皆様にごより御礼を申し上げます。ありがとうございます。

活動がないので、巣鴨ジュニアクラブ全体行事のイメージが伝えられなかったりと、勧誘するには厳しい状況です。しかし、思いや立場、境遇を共にする仲間と集うことの素晴らしさが再認識されるであろうアフターコロナの世界を見据えて、ジュニアクラブで一緒に活動する仲間を増やしたい、そんな思いを込めたいリーフレットです。

長いコロナ禍で、色々な形で『分断』が目立つてくるようになりました。もしかすると、その分断したものを元どおりに戻すことはできないかもしれませぬ。しかし、色々な立場や視点から見ると、そこが『多様性』として受け入れることはできないか。分断の行く末が孤立なのか、それとも多様なものか。

様々な立場の仲間が、様々な考え方を発信し、受信する。広報委員会は、そのつなぎ役でありたい。意見の集約者や発信者でありたい。

コロナ禍以前の巣鴨ジュニアクラブの素晴らしいところは残しながら、全てを元どおりにしようとするのではなく、新たな視点や価値観を持ったアフターコロナの新しい巣鴨ジュニアクラブの形をみんなで作っていく。

広報委員会が、新風が、リーフレットが、その一助になれるのであれば、広報委員会としてこんなに嬉しいことはありません。

最後になりますが、ご協力いただきました巣鴨信用金庫の皆様、スガモククラブの皆様、巣鴨ジュニアクラブの皆様にごより御礼を申し上げます。ありがとうございます。

SNS 企画

巣鴨ジュニアクラブ

広報アカウントができました！

巣鴨ジュニアクラブ

ハッシュタグ
をつけて

応援したり、宣伝したりしませんか？



Facebook

巣鴨ジュニアクラブ_広報 (@sugamojr.press) で記事をシェアします。メッセージかメールでシェアして欲しい記事を教えてください。

*シェアを希望する記事は「全体公開」にしてください。



Instagram

【# 巣鴨ジュニアクラブ】でジュニアクラブの仲間の情報を検索できます。また応援したいお店や紹介したい事業を【# 巣鴨ジュニアクラブ】をつけて発信してください！

コロナをみんなで応援しあって乗り切ろう！
新しいサービスやオススメしたい飲食店など
会員同士の情報を SNS で発信していきましょう。



kohou@ml.sugamo-jr.com (広報委員会直通)



特別号への思いと リーフレットへ込めた願い

本来であればこの新風は 50 号となる予定でした。しかし、長引くコロナ禍の影響により、掲載する記事が少なく例年どおりの新風を発行することが困難になりました。広報委員会としては、WEB への移行なども検討しましたが、冊子として発行をしたいという強い思いがあり、内容を厳選して特別号として発行をすることになりました。

またコロナ禍だからこそ、巣鴨ジュニアクラブという素敵な大人の社交場をより広めたい。会員数が減少している中で新規会員の仲間を増やしたい。そんな切なる思いで入会促進のリーフレットの作成をしました。

今年度初めて広報委員会のメンバーになった志村支部の廣田さんに『リーフレットに未来を込めて』と題して、コロナ禍の広報委員会の一年の活動をまとめてもらいました。ご一読いただければ幸いに存じます。



リーフレットに未来を込めて

昨年度もコロナ禍の影響により、ジュニアクラブの懇親会や大きなイベントの実施が危ぶまれる中、令和 3 年度の広報委員会オンライン形式でスタートしました。私は当初、オンライン形式での意見交換はなかなか難しいと感じました。広報委員会は、新風 50 号のアイデア出しなどをしました。しかし、ジュニアクラブの通年行事の多くが中止になる可能性もあり、例年通りの新風に拘らない形式を検討することになりました。

そのような議論の中で、広報委員の役割とコロナ禍で何ができるかを考えた結果、新規会員促進のためにリーフレットを作成することにしました。リーフレットを作成するにあたり、「新規会員獲得のための『最初の接点』として何が出来るのか」を考えることからスタートしました。広報委員会のメンバーから個性あふれる意見が多数出るので、このリーフレット作成企画は本当に終わるのか心配しました。

リーフレット作成での一番の思いは「FAX 形式」でのアンケートとその結果です。本部事務局及び各支部事務局との協力のもと、巣鴨ジュニアクラブ全会員に FAX でアンケートを送信しました。「ジュニアクラブに期待する事」「ジュニアクラブに入ったきっかけ」「ジュニアクラブに入っ

て良かった事」などに対し、会員の皆様より幅広い意見がたくさん寄せられました。

回答者数の多さと明確な回答に驚きました。FAX の返信をしていただいた会員の皆様に改めて感謝申し上げます。広報委員会のメンバーで全てのアンケートに目を通し、リーフレット内容を整理して、煮詰め、作成を進めていきました。進めて行く中で、会員の皆様のそれぞれの思い、ジュニアクラブの歴史、コロナ禍で活動が出来ない苦しみなどが伝わってきて、委員会活動に初めて参加した私は、勉強になると共に、会員一人一人の皆様の「強い思い」があるので、巣鴨ジュニアクラブが今まで継続出来ていると感じました。

私事でございますが、一年間を通してリーフレット作成に携わらせていただき、本業があり、会議後の懇親会も無いのに、毎回参加していた広報委員のメンバーの姿勢に感動いたしました。また、初参加の私に対して、会議の進行方法やオンラインを使用している情報共有方法など丁寧に教えて頂いた諸先輩方には感謝申し上げます。リーフレットが完成してジュニアクラブの新規会員が一人でも増える事を祈っております。

最後になりますが、リーフレット作成進行に伴って協力いただきました、巣鴨信用金庫様、事務局の皆様、ありがとうございました。コロナ禍にありながら、会員の皆様と広報委員会メンバー全員の思いを集約して作成したリーフレットが、新しい未来を切り拓く最高のツールであると確信しております。

志村支部 廣田篤史

スガモクラブ会長

榎戸 英治

〔本店支部〕



比類なき歴史と仲間と供に！

巢鴨ジュニアクラブ・スガモクラブの皆様には、日頃より大変お世話になります。誠に御礼を申し上げます。

例えば、巢鴨ジュニアクラブに入会して33年の年月が経過し、大昔にはジュニアクラブ広報委員として「新風」の原稿を御願ひする事に奔走し、良き仲間を支えられ、愉しく親交を深めたことが思い出されます。

45歳の境を超えて、両会に長年お世話になり、相談相手も遊び友達もいる素晴らしいコミュニティのファンとして、感謝の念に堪えません。

スガモクラブも昨年末で、37支部／900名を超える会員数の大所帯となりました。

そして今年、巢鴨信用金庫様に於かれましては「創業100周年」の年となります。

前身である「有限責任信用組合巢鴨町金庫」が設立された大正の不景気に「横行した。銀行の貸し渋り」に対する庶民の反骨の狼煙でもあった」と記される書物を拝見し、脈々と引き継がれる精神に、現代の我々も恩恵にあずかっているの思いです。

そのメモリアルイヤーに際し、何か出来る事でお返しをしたいとも考えております。

コロナ禍の影響で2年間の自粛を余儀無くされている現状を払拭し、今年は笑顔のコミュニティを再開する為、感染対策を万全に、各方面と連携のもと、先ずは新入会員を御招きしての歓迎会開催、交流会の実施、加えて各イベントを実現すべく本部役員一同を含め皆で盛り上げていきたいと存じます。どうかより一層の御理解と御協力を賜りますよう宜しく御願ひ申し上げます。

最後になりますが、両会ならびに巢鴨信用金庫様と皆様様の御多幸を心より御祈念申し上げます。

スガモクラブ紹介

スガモクラブ紹介

スガモクラブ 相談役

野々下 徳二

〔成増支部〕



会長を退任して思う事

皆様こんにちは。令和元年度、2年度会長を勤めていた成増支部の野々下でございます。会長在任中は本部役員、各支部長及び会員の皆様に格別のお引立てを賜り誠に有難うございました。

令和元年度は上記皆様のご協力のもとアリスさんご出演のイリュージョンショーによる新入会員歓迎会、サーカスさんご出演の秋のスペシャルディナーショー、約700名のご参加をいただいたジュニアクラブとの合同新年会等本部行事をほぼ滞りなく行うことができましたが、盛会に終わった合同新年会後より新型コロナウイルス感染症が日本でも蔓延を始めました。

3月開催予定の事業委員会によるビジネス交流会を直前の中止から始まり、その後の定時会員総会、令和2年度に入り新入会員歓迎会、秋のスペシャルディナーショー、合同新年会をはじめ事業委員会、広報委員会等の各支部の会議もすべて中止となつてしまいました。ホテルを利用するイベントでは開催の4か月前には開催中止かの判断をしなければならず、先の読めない状況の中で開催を前提に準備を進めてはおりましたが会員様のご期待に副うことができず毎回中止という苦渋の選択をしなければならぬ連続の1年間でございました。結局会長在任中の2年間とも4月に行われる恒例の定時会員は開くことができず、一度も総会議長を務めたことのない会長という不名誉な足跡を残す結果となってしまいました。新型コロナウイルス問題が収束しないまま昨年4月には榎戸新会長にバトンを託す形となりましたが、新会長も就任以降ご苦勞の連続と思えます。

今後は相談役として微力ながら新会長及び本部役員会をバックアップしていく所存でございますが、この2年間、力不足ながら貴重な体験をさせていただいたこと、会員の皆様と巢鴨信用金庫様の力強いサポートをいただいたことにこの場をお借りして感謝と御礼を申し上げます。

丸2年本部も各支部もスガモクラブらしい活動はできておりませんが、夜明けは必ず来ります。一日も早く平穏な世の中に戻り、そして会員の皆様と再会できますことを強く念じ挨拶とさせていただきます。2年間に有難うございました。そしてお世話になりました。

スガモクラブ 広報委員長

村上 桂子

〔東池袋支部〕



仲間と作る情報発信・仲間を作る広報活動

令和3年度、広報委員長となりました東池袋支部の村上でございます。

コロナ以前のスガモクラブ広報委員会では、各支部委員の方による積極的な意見交換が交わされ、まずは、スガモクラブのホームページが立ち上がりました。

その後、従来通りの紙による情報発信や時代に即しSNSを利用した発信などを検討して参りましたが、2年前より残念ながら皆様とお目にかかり、活発な意見交換をすることが出来なくなりました。

今後は、ただコロナが収束するのを待つのではなく、この時代でも出来ることを模索しながら活動を進めて参りたいと思っております。

・会議は対面だけではなく、ZOOM等を併用したオンライン開催も視野に入れる。

・広報本来の役割を再検討し、ジュニアクラブとも連携しながら新しい発信方法や内容を考える。

年々ジュニアクラブの人数が減少しています。新しい会員をお迎えすること、また現会員の皆様に魅力あるクラブであるとお伝えすることは、広報委員会の重要な役割であると考えます。

令和4年度はスガモクラブ各支部委員の方並びに、ジュニアクラブ広報委員の方のお力、お知恵を拝借しながら、価値のある情報発信が出来る広報委員会を開催できればと存じます。

会員の皆様のご協力、ご参加を心よりお待ちしております。

スガモクラブ 事業委員長

渡辺 隆

〔志村支部〕



事業委員会の活動にあたって

令和3年度より副会長及び事業委員長となりました志村支部の渡辺隆と申します。

事業委員長として、令和三年十一月の支部長・本部役員合同会議において、ウィズコロナでの委員会の開催方法をご説明させて頂きました。先ずはしっかりと感染対策を講じて委員会の開催を図って参ります。その上で、令和2年度の事業委員会において事業委員の皆さんと前事業委員長の村上副会長が準備をしておりましたグループワーク（体験型研修会）の開催を進めて参りたいと存じます。又、状況に応じて柔軟に開催可能な形での異業種交流会を開催出来る様に委員会で検討を進めて行けたらと考えております。事業委員の皆様のご参画をお願いしたいと存じます。どうぞよろしく御願ひ申し上げます。

さて、スガモクラブ事業委員長を仰せつかるに当たり基本に立ち返るとの思いで、多くの皆様が過去ご在籍の巢鴨ジュニアクラブの機関誌「新風」のバックナンバーを読み返してみました。（巢鴨ジュニアクラブのホームページから閲覧が可能です。ご覧の際はパスワードが必要ですので、お近くのジュニア会員又は事務局にご確認をお願い致します。）

その中の平成十一年発行の第二十七号に巢鴨信用金庫理事長の田村和久様の「お客様スタンダード」と言う言葉が有りました。今でこそ当たり前に通じるものです。二十年以上前からブレずに現在も信用金庫の在り方として実践なさっている姿には学ぶべき事があると改めて感じ次第です。

事業委員会の運営に当たり、会員スタンダード（会員基準、会員起点）で、会員同士の親睦、すかも事業創造センター（SCC）等を通じて学びの機会を創出を図り、会員の皆様に価値ある体験をお届け出来る様に取り組んで参りたいと存じます。今後の事業委員会のイベント開催の折には会員の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

お客さまにとことん寄り添う 「勝手に社員」となりお役に立ちます

**勝手に社員
勝手に家族
宣言!**

今後、どうして
いったらいいの...?

なにをしたら
いいかなあ?

今年度の“すがも”の経営計画
戦後最大の不況と言われ、
お客様も大変な思いをなさっている...

こんな時こそ、
お客様の会社の『社員』に、
お客様の『家族』になったつもりで、
とことんお役に立とう!

《社員宣言》
はじめます!

そのようなわけで
「勝手に社員」
「勝手に家族」になりますが、
お役に立てるよう頑張りますので、
宜しくお願い致します!!!

「勝手に社員」宣言とは

「戦後最大の不況と言われ、お客さまも大変な思いをなさっている。そんな時こそ、お客さまの会社の社員になったつもりでとことんお役に立ちたい!」そのような巣鴨信用金庫の経営計画を表した宣言です。

巣鴨信用金庫の原点でもある、困っているときはお互い助け合う相互扶助の精神で、お客さまに寄り添いお役に立ちます。

巣鴨信用金庫はお客さまの 販路拡大と一緒に お手伝いします!

1. 「縁の市」で多くのご縁をつなぐ・つむぐ

つなぐ・つむぐ
縁の市

お家でのおいしいごはん
飲食店応援ページ

暮らしから探す 仕事から探す 地域から探す 縁り処

キーワードを入力して検索

「縁の市」とは?

巣鴨信用金庫にご縁のある事業者さまを、わたしたちの想いとともにご紹介するウェブサイトです。「縁の市」がビジネスと毎日の生活において、みなさまのご縁をつなぐ・つむぐ一助となりますことを願っております。

サイトの閲覧はこちらから↓



※閲覧時に発生するデータ通信料は利用者のご負担となりますのでご了承下さい。
※サイトに掲載されている商品については各取り扱い事業者さまにお問い合わせ下さい。

2. 「縁り処」で「縁の市」コミュニティといつでもつながる

とどろ
縁り処

イチオシ! ハッケン!
みなさまの自慢の逸品や商品、見つけたい商品やサービスの情報サービスの情報発信にご利用、情報収集にご利用ください。

コラボ! エンタメ縁JOY!
一緒に事業を行うパートナーの みなさままでご縁を楽しむ話題の募集にご利用ください。 提供にご利用ください。

「縁り処」とは?

「縁り処」は「縁の市」にご登録の事業者さまがいつでも集まり、つながり・つむぐ場所として利用できる、コミュニティスペースです。お互いの声を「聴いたり」「伝えたり」それを見ている方々も、自然と集まり共感できるような場所となっています。

サイトの閲覧はこちらから↓



※閲覧時に発生するデータ通信料は利用者のご負担となりますのでご了承下さい。
※サイトに掲載されている商品については各取り扱い事業者さまにお問い合わせ下さい。

3. 「結の市」で地域の人と結ぶ・つながる

結の市

「結の市」とは?

「結の市」は事業者の皆さまの商品やサービスなどを地域の方々へ情報発信する店頭掲示板です。新たなご縁がさらに結ばれるよう、地域情報を発信して参ります。

新風 委員会報告

総務委員長



小暮 公雄
(駒込支部)

令和3年度も引続き、総務委員長を務めさせていただきました。日頃より会員の皆様には、巣鴨ジュニアクラブの活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。新型コロナウイルス感染症により影響を受けた方には心よりお見舞い申し上げます。また、医療従事者の皆様をはじめエッセンシャルワーカーの皆様、感染拡大防止にご尽力されている方々に深く感謝申し上げます。今年度も全ての行事が中止となるなか、広報委員会を中心に活動いたしました。巣鴨ジュニアクラブ機関誌「新風」特別号の発行と、巣鴨ジュニアクラブ新入会員勧誘リーフレットを作成しましたので、各支部にて、ぜひ会員増強にお役立ていただければ幸いです。

コロナウイルス感染拡大からすでに2年が経ち、いまだ終息が見えておりません。昨今はオミクロン株の感染が驚異的なスピードで拡大しており、まだまだ闘いは継続しそうな状況です。本部役員会でも活動基準を設け議論を重ねてまいりました。規模の大きいイベントの開催は難しいかもしれませんが、小さいことから少しずつ通常に戻していき、今年こそは、皆様に巣鴨ジュニアクラブの魅力を満喫していただきたいと思います。

令和4年の干支は、壬寅(みずのえとら)です。厳しい冬を越えて、芽吹き始め、新しい成長の礎となる意味があるそうです。

この状況が一日も早く解消され、平穏な日々が戻りますよう強く願っております。

そして、会員の皆様や金庫職員の皆様と笑顔でお会いできる日が来ることを祈念いたしますとともに、三委員会を通して親睦の輪が益々広がっていくことを願ってご挨拶とさせていただきます。

事業委員長



小林 則隆
(駒込支部)

令和3年度の事業委員長を務めさせていただきました。駒込支部の小林と申します。平素より巣鴨ジュニアクラブ会員の皆様においては活動に対しての深いご理解とご協力を頂き誠にありがとうございます。また、私たちの活動の母体でもあります、巣鴨信用金庫様にも多大なるお力添えを頂きありがとうございます。

昨年度より続く、新型コロナウイルス感染症により、社業に影響が出たり、私生活においても窮乏な思いをいられたりした年となりました。四月より第四波が始まり、本部としても難しい判断を迫られました。

事業委員会としては、委員長である私と副委員長で協議した結果、四月の段階で今年度の行事及び委員会をすべて中止するという決断を取らせていただきました。

今までの事業委員会のイベントは、会員の皆様、その御家族の皆様並びに金庫職員の皆様にご参加いただき、楽しく交流し開催してきました。

そんな中、今年度は国民にワクチン接種が行われましたが、イベントに参加したい皆様が全員参加できない状況が生まれるのであれば、ジュニアクラブに所属しているメンバーとして不公平にならないかと、色々な思いが駆け巡りました。

そんな心に迷いがある中で、委員会開催も本意ではないですし、委員会の皆様にもコロナ禍において、お時間を割いていただく事も気がかり、今年度は活動を中止させていただきます。

しかしながら、コロナ禍においても月日は進んでいき、私も今年度ジュニアクラブの卒業を迎えます。

今年度までチャリティーホウリング大会は二回、ソフトボール大会は三回の中止が続いており、委員会による開催計画の立て方、進行等が経験できていません。

結局、私が委員長の間は、何一つイベントはできませんでしたが来年年度今の状況が改善されイベントができるようになれば、私のジュニアでの経験で、最大限の協力をしていきたいと思います。

先を見ない、方向性の定まらない生活が続いてはおりませんが、責任ある立場の皆様、自分の会社、仕事、大切な御家族を最優先して過ごしていただきたいと思います。

来年度はありますが、巣鴨ジュニアクラブの会員となり、支部だけではなく、委員会に出席するようになり、他の支部の仲間が広がったことや、巣鴨信用金庫の皆様との交流もでき、とても有意義なジュニアクラブ生活だったと思います。先輩を含め、全ての皆様に感謝しております。ありがとうございました。

企画委員長



竹田 肇
(板橋支部)

令和3年度、企画委員長を務めさせていただきました。板橋支部の竹田肇と申します。

日頃より巣鴨ジュニアクラブの活動にご協力賜り心より感謝を申し上げます。

また、スガモクラブ様や巣鴨信用金庫様にご支援いただいておりますことにも感謝いたします。

本年度で2年目の委員長を務めさせていただきましたが、今もなお新型コロナウイルス感染症により、委員会自体はオンラインで委員の皆様と会議を進めてまいりました。

緊急事態宣言が明けてから、感染対策を徹底して対面式での会議が開催出来るようになり、どうか本年度中の企画委員会行事を開催したいと委員会会議を行ってまいりました。

しかし準備期間不足等により今期内の企画委員会の行事開催を本意ながら断念せざるを得ませんでした。来期の行事に向けて委員の皆様のお力をお借りして会議を開催したいと思っております。

来期も以前のように、皆様が楽しみに、より多くの会員様に参加して頂ける行事を、委員の皆様、副委員長とともに実施し、企画委員会として巣鴨ジュニアクラブを盛り上げていこうと思っております。

最後になりますが、巣鴨ジュニアクラブの皆様、スガモクラブの皆様、巣鴨信用金庫の皆様のご健康と益々のご健勝とご発展を祈念するとともに、巣鴨ジュニアクラブを通じて親睦の輪が益々広がっていくことを願って、誌面をお借りして厚く御礼を申し上げます。

※新入会員紹介
今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、各支部及び、本部事務局において、新入会員の正確な把握、集計ができませんでした。そのため、本年度の新入会員は、来年度の新入会員と合わせて紹介させていただきます。ご了承ください。



2021年度卒業生紹介 ご卒業おめでとうございます



平素より巣鴨ジュニアクラブの活動にご協力ご理解頂き、ありがとうございます。

私達はスガモクラブ様のご指導、巣鴨信用金庫様のバックアップ、後輩達のサポートにより卒業を迎える事が出来ました。

卒業するに当たり、この場を借りて感謝申し上げます。

ジュニアクラブは新型コロナウイルス感染症によって、活動の中核である支部の交流を断ち切れ、本部行事で生まれるジュニアの一体感も感じる事ができませんでした。

運営の軸となる本部役員、支部長が次の世代に思いを伝えられず、僅かに次世代に渡す形になっていくと思えます。

50周年を経て未曾有のピンチの中ではありますが、私はピンチとチャンスは交互に来るのでは無く、ピンチを乗り越えた先にチャンスがあると思えます。

私達は卒業を迎えますが、同じ地域に居ますので次世代のジュニアの活動の力になれば幸いです。

支部に参加する会員様が楽しくかつたと思える会を1つずつ思いを込めて開催をして、卒業する時にジュニアクラブに入って本当に良かったと思ってもらえるよう、この会がいつまでも続く事を心から願っています。

最後になりますが、巣鴨ジュニアクラブの今後益々のご発展と会員様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

志村支部 北村康則

巣鴨ジュニアクラブ卒業生名簿

支部名	氏名
本店	松岡 秀典 池田 裕一 森本 貴之
大塚	伊藤 一輝
板橋	飯島 信明 伊藤 裕通
池袋	中澤 雅之
駒込	小林 則隆 吉田 研三 佐藤 顕治 豊島 裕一
江古田	武藤 英明
志村	北村 康則 角 英明 糠加 能正
練馬	山本 勇一郎
戸田	真壁 幸司
成増	阿曾 敏晃
東池袋	中村 純人
田柄光が丘	大橋 肇 若佐 勇
西日暮里	高尾 将史 南雲 一夫 堀井 和文
東武練馬	豊島 慎一郎 田中 正樹 柴田 朝陽
西川口	佐々木 慎太郎 高橋 輝
常盤台	奥野 大作

支部名	氏名
西戸田	長谷川 勝 高宮 大輔
幸町	中野 知和 柿沼 道佳
土支田	阿曾 伸一郎 高橋 奨 吉田 雄一郎
水道	羽染 和仁
板橋栄町	落合 範隆 石川 輝雄 伊澤 英一
椎名町	廣田 祐洋 佐藤 英治
東新町	谷口 壽郎 足立 学 弓座 健太郎
朝霞台	白井 一夫 植木 新吾 高橋 健治
高島平	志賀 健一郎
南平	鈴木 淑雄
中野	作田 英介 金城 景俊 根本 聖道
新高島平	池松 賢司 小橋 一真 安部 寛 旭立 武基
中青木	福島 一郎
西浦和	網谷 拓志
新座	小嶋 規泰

以上61名 (敬称略)